

令和元年6月27日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H02600

研究課題名(和文) 東南アジア地方自治ガバナンスに関する住民意識調査 フィリピンとインドネシアの比較

研究課題名(英文) Comparative Study on the Perception of Constituents on Local Governance in Southeast Asia: Comparison Between the Philippines and Indonesia

研究代表者

西村 謙一 (Nishimura, Kenichi)

大阪大学・国際教育交流センター・准教授

研究者番号：40237722

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,970,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、インドネシアとフィリピンにおける地方自治への住民参加と行政サービスに対する住民評価の現状、そして住民の幸福感と地方自治との関係を明らかにすることを目的に、住民意識調査を実施した。

インドネシアについては、ジャワ島の全112県市と特別州の2市から5区村、各区村から3隣組、各隣組から2人の合計3420名をランダムに抽出し、3412名からの有効回答を得た。

フィリピンについては、ムスリム・ミンダナオ自治地域を除くフィリピン全国から80市町、各市町から5村、各村から6名の合計2400名をランダムに抽出し、2400名から回答を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

東南アジア諸国における自治体パフォーマンスに対する住民評価に関しては、個別事例の研究はそれなりに見られるものの、全国レベルの量的調査に基づいてローカル・ガバナンスと住民評価の関係を統計学的に分析することを試みた学術的研究の蓄積は乏しい。この点において、本研究は東南アジア地域(インドネシア及びフィリピン)における地方自治の質や変容に関する研究に新たな知見を提供するものである。

また、本研究では社会学者、行政学者、東南アジア地域研究者の協働の下で実施され、住民の幸福感と地方自治の関係についての分析も試みており、社会学と行政学、あるいは東南アジア地域研究とを架橋する点でもその学術的意義は大きい。

研究成果の概要(英文)：In this study, we conducted opinion surveys for the purpose of clarifying the present situation of residents' participation in local governance and their evaluation for local public services, as well as the relationship between residents' well-being and local autonomy in Indonesia and the Philippines.

In Indonesia, we randomly selected 3420 samples from 112 regencies/cities in Java, 1 city in the Special Capital Region of Jakarta, and 1 city in the Special Region of Yogyakarta - 2 samples from 3 neighborhoods in 5 villages in each regency/city. And the number of valid response is 3412.

In the Philippines, we randomly selected 2400 samples from 80 cities/municipalities in the Philippines nationwide - excluding the Autonomous Region of Muslim Mindanao. We selected 6 respondents in 5 villages (barangay) in each city/municipality. The number of valid response is 2400.

研究分野：比較政治学、東南アジア地域研究

キーワード：フィリピン インドネシア 地方自治 住民参加 住民意識調査 住民評価 満足度 幸福感

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

本研究は、我々が実施してきた東南アジア3カ国の自治体エリートサーヴェイ(科学研究費基盤研究(A)「東南アジアにおける地方自治サーヴェイ調査-タイ、インドネシア、フィリピンの比較」および基盤研究(B)「東南アジアの自治体エリートサーヴェイ分析-タイ、インドネシア、フィリピンの比較」(いずれも研究代表者:永井史男・大阪市立大学教授))の成果を踏まえて着想された。

上記科研では、東南アジア3カ国の地方自治に関する従来の研究が、制度の説明、事例研究、地方分権やローカル・デモクラシーの諸問題の指摘に留まり、比較研究の視点も欠いていた状況に鑑み、社会調査論と統計学的方法論に基づいて、各国のローカル・ガバナンスの規定要因を明らかにすることを目的に、市・町の首長と幹部職員を対象として、中央地方関係、首長や職員の意識や社会的属性、住民との関係に関する質問で構成された調査票を用いて調査を実施した。また、自治体による自己評価や中央政府が有する自治体行政の各種データ、中央政府等の評価に基づく賞の受賞数等から自治体のパフォーマンスを示す指標を作成し、調査で得られたデータとの関係を統計学的に分析して、ローカル・ガバナンスの変容を規定する要因の析出を試みた。

この過程で、我々は住民との関係が自治体のパフォーマンスにとって重要な要素であるとの認識を共有し、また、住民調査の必要性は調査開始当初より認識されていた。しかし、3カ国において数百規模で自治体エリート調査を実施するのと並行して住民調査を行うには予算上も時間的にも制約が大きいことから、住民調査まで踏み込むことはできず、結局、住民との関係に関する指標は、調査で首長や職員から得た情報に依らざるを得なかった。そこで、本科研において地方自治に関する住民意識調査を実施することとした。

調査対象国は、前回の調査実施後に地方選挙が行われ、首長や議員の構成に変化が生じた自治体を抱え、住民意識をなるべく早く明らかにする必要があるインドネシアとフィリピンとした。他方、タイについては、当時、軍事政権下において新憲法の施行が予定されており、政治的変動もありうるため、住民調査の環境が整っているとは必ずしもいえないと判断し、調査対象から外した。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、東南アジア2カ国(インドネシアとフィリピン)において地方自治に関する住民意識調査を実施し、地方自治への住民参加と行政サービスに対する住民評価の現状、そして住民の幸福感と地方自治との関係を明らかにすることである。より具体的には、住民参加と自治体能力や行政パフォーマンスの間の相関関係や因果関係を明らかにし、また、行政パフォーマンスが住民の自治体評価や幸福感にどのように反映されているかを分析する。さらに、社会関係資本が自治体能力や行政パフォーマンスにいかなる影響を与えているのかを明らかにする。

### 3. 研究の方法

本研究では、社会調査論と統計学的方法論に基づいて、調査票を用いた住民意識調査を実施する。また、本研究では、インドネシアとフィリピンの比較研究も実施する。このため、本研究は4つの段階に分けて実施された。第1段階は複数回の現地調査を行い、調査票を作成する。第2段階は調査票を完成させるとともに標本抽出を行う。第3段階において、本調査を実施し、収集されたデータのクリーニングを行う。そして第4段階でデータ分析を行う。

上記方針に従い、平成27年度には調査地点や調査対象住民選定の方法および調査票のデザインに関わる理論的検討を重点的に実施した。5月にはインドネシアの研究者を交えて、特にインドネシアにおける調査方法に関する検討会議を開催し、10月に地域社会学の専門家から調査サンプルの選定方法に関わる理論的検討課題について助言を得た。そして、11月に地方自治に関する住民調査の経験を豊富に有する研究者を招いて、調査票のデザインを含めた住民調査の実施に関わる諸問題について検討した。

上述の理論的検討と並行して、平成27年度から29年度にかけて、インドネシア、フィリピン両国における現地調査や暫定調査票を用いたプレテストを複数回実施し、また、本研究と対応関係にある地方自治体エリート調査の結果を用いて自治体パフォーマンスの規定要因に関する分析を進めた。これらを通じて得られた知見を反映させて調査票の改訂作業を進めた。さらに、本研究が2カ国の比較研究であることから、両国の調査票の共通質問項目の検討も進めた。以上の作業を経て、平成30年度初頭から前半にかけて両国の調査票を完成させた。

調査票の作成と並行して、調査地点の選定方法や標本の抽出方法について、両国で実査をおこなう世論調査機関(インドネシアのLingkaran Survei Indonesia(LSI)、フィリピンのSocial Weather Stations(SWS))との間で協議を行った。そして、インドネシアでは、ジャワ島の全112区市と特別州の2市(ジャカルタ首都特別州の東ジャカルタ市、ジョグジャカルタ特別州のジョグジャカルタ市)の114区市における20歳以上個人を母集団として、各区市から5区村、各区村から3隣組、各隣組から2人をランダムに抽出した3420人を計画標本とした。また、フィリピンについては、ムスリム・ミンダナオ自治地域を除くフィリピン全国から80市町、各市町から5村、各村から6名をランダムに抽出した2400名を計画標本とした。

#### 4. 研究成果

実査は、LSI (インドネシア) および SWS (フィリピン) の調査員が、調査票を用いたインタビュー調査によって行った。当初計画では平成 29 年度に実施する予定であったが、同年 5 月にフィリピンのミンダナオ島に戒厳令が施行され、年をまたいでも解除されなかったため、インドネシアも含めて実施時期を平成 30 年度にずらざるを得なかった。実査は、インドネシアでは平成 30 年 5 月から 7 月にかけて、フィリピンでは平成 31 年 2 月から 3 月にかけて行った。

インドネシアでは、計画標本数 3420 人中 3412 人から有効回答を得て (回収率 99.8%)、データ・クリーニングをほぼ終了し、単純集計の取りまとめに向けた準備を進めた。フィリピンでは、計画標本数 2400 人に対して有効回答数は 2400 であった (回収率 100%)。今後、データ・クリーニングを実施する予定である。

上述したように、実査そのものが最終年度にずれ込んだため、データの分析・解釈は今後の課題であるが、インドネシアの一部のデータに関しては、住民の社会階層とウェル・ビーイングとの関係についての分析を行い、雑誌論文として発表した。

他方で、本研究において実施された現地調査によって得られたデータも踏まえて、本研究と対応関係にある地方政府エリート調査の結果を用いて地方政府パフォーマンスの規定要因に関する分析を進め、2016 年 2 月に Indonesian Institute of Sciences でワークショップを開催するなど、分析結果を国内外の学会における報告や学術誌への論文投稿等の形で公開した。

#### 5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計 32 件)

Fumio Nagai, Tsuruyo Funatsu, Introduction: Backgrounds and Research questions, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、1-29

Masaaki Okamoto, Yosuke Sunahara, A Local Governance Survey in Indonesia, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、30-57

Kenichi Nishimura, A Local Governance Survey in the Philippines: Mayor Version, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、58-91

Masao Kikuchi, A Local Governance Survey in the Philippines: PDMC Version, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、92-108

Tsuruyo Funatsu, Kazuhiro Kagoya, Fumio Nagai, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、109-142

Kazuhiro Kagoya, Appendix A Local Governance Survey in Thailand by urban/ rural local government, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 査読無、1、2019、i-xvi

Kenichi Nishimura, How Does New Public Management Work in the Philippines?: An Empirical Study on the Local Governments in the Third World, 多文化社会と留学生交流, 査読無、23号、2019、65-76 ([https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71588/MESE\\_23\\_065.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71588/MESE_23_065.pdf))

小林盾, 西村謙一, 川端健嗣, 主観的ウェル・ビーイングにおける美容資本の役割はなにか: 2018 年インドネシアの地方自治意識調査の計量分析、ソーシャル・ウェルビーイング研究論集, 査読無、5号、2019、29-46

Fumio Nagai, The Current State of Local Cooperation in Southeast Asia: Thailand, Indonesia, and the Philippines, Toward Regional Cooperation of Local Governments in ASEAN: ERIA Collaborative/Support Research Report, 査読無、1、2019、1-23

菊地端夫, “私的政府”による公益提供? 米国ゲーテッドコミュニティにおける自治体とHOAの責任領域の交錯の視点から、公益学研究, 査読無、第18巻第1号、2019、1-9

籠谷和弘, 日本における「創造都市」活動の現状と展望、関東学院教養論集, 査読無、29号、2019、47-59 (<https://kguopac.kanto-gakuin.ac.jp/webopac/005.??key=BVU0JI>)

Kenichi Nishimura, People's Participation in the Local Administration in the Philippines: An Empirical Study on the Local Development Council, 多文化社会と留学生交流, 査読無、22号、2018、77-88 ([https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/67909/MESE\\_22\\_077.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/67909/MESE_22_077.pdf))

永井史男, 船津鶴代, 東南アジアの地方自治サーヴェイ研究 背景と経緯、東南アジアの地方自治サーベイ 比較のための解題とデータ作成, 査読無、1、2018、1-13

永井史男, 解題: 東南アジアの中央・地方関係、東南アジアの自治体サーベイ 比較のための解題とデータ作成, 査読無、1、2018、15-28

岡本正明, 解題: 東南アジアにおける地方政治と政治王国論、東南アジアの自治体サーベイ 比較のための解題とデータ作成, 査読無、1、2018、30-47

西村謙一, 解題: 自治体における開発計画の決定過程、東南アジアの地方自治サーベイ 比較のための解題とデータ作成, 査読無、1、2018、48-66

岡本正明、分権・集権の軸からみた東南アジア諸国の中央地方関係、東南アジア政治の比較研究、査読無、1、2018、134-147

小林盾、西村謙一、インドネシアにおける容姿の規定メカニズムの計量分析：美しさは生まれつきか、合理的な投資戦略か、アジア太平洋研究、査読無、43号、2018、197-208

Fumio Nagai、Kazuhiro Kagoya、2011 Chaopraya River Flooding and Resilience of Local Governments in Thailand: Analysis of Local Government Survey Data、A paper presented to the AGPA (Asian Group for Public Administration) conference、査読無、1、2018、1-23

Masao Kikuchi、Public Trust in Government in Japan、Global Encyclopedia of Public Administration, Public Policy, and Governance、査読無、1、2018、1-7

<sup>21</sup>Fumio Nagai、Kazuhiro Kagoya、Local Governance in Thailand: Analysis of Local Elite Survey、A Paper presented to the 2017 EUROSEAS Conference、査読無、1、2017、1-12

<sup>22</sup>永井史男、タイの地方制度、盤谷日本人商工会議所 所報、査読無、667号、2017、8-18

<sup>23</sup>永井史男、籠谷和弘、船津鶴代、資料 タイ地方自治体エリートサーヴェイ調査、法学雑誌、査読無、第63巻第4号、2017、78-104

<sup>24</sup>菊地端夫、自治体職員が海外で学ぶことの意義とは、国際文化研修、査読無、90号、2016、16-21

<sup>25</sup>岡本正明、反汚職の政治社会学、アジ研ワールド・トレンド、査読無、241号、2015、16-18

#### [学会発表](計55件)

Masao Kikuchi、Measuring Public Service Motivation in Japanese Public Sector: Legacy Effects or Transformation of Traditional Culture?、2018 Annual Conference of the Asian Association for Public Administration、2018

Masaaki Okamoto、Transmigration village development planning with and without NGO facilitation in Sumatra、International Workshop on Revisiting the Indonesian Transmigration Experience: Community Resilience and Long-term Outcomes、2018

Masaaki Okamoto、Beyond Oligarchy Politics vs Identity Politics in Metropolitan Jakarta? Reclamation Project in Chaos、Workshop on Metropolitan Politics in Southeast Asia、2018

Kenichi Nishimura、Local Development Council and its Effect to the Local Development Planning in the Philippines、The 5th International Conference on Social Policy and Governance、2018

西村謙一、フィリピン地方自治における開発評議会の効果、アジア政経学会2018年度秋季大会、2018

Kenichi Nishimura、How do the Elements of Local Government affect the Performance of the Local Development Council in the Philippines、Asian Group for Public Administration 2018 Conference、2018

Fumio Nagai、Kazuhiro Kagoya、2011 Chaopraya River Flooding and Resilience of Local Governments in Thailand: Analysis of Local Government Survey Data、Asian Group for Public Administration 2018 Conference、2018

Masao Kikuchi、Resilience of Tradition or Source of Administrative Resilience? Public Service Motivation of Japanese Public Employee in Changing Times、2018 Congress of the International Institute of Administrative Sciences、2018

Masao Kikuchi、Assessing Impacts of Organizational Culture and Organizational Commitment for Public Service Motivation in Japanese Public Sector、Public Management Research Conference 2018、2018

Masao Kikuchi、Development of Disaster Resilience System in Japan: Features and Future Directions、Workshop of Comparative Disaster Management Governance、2017

Kenichi Nishimura、New Public Management in the Philippine Local Governments: The Mayors' Political Behavior and their Idea of Local Governance、The UP NCPAG 65th Anniversary International Conference Public Administration in Changing Times: New Norms and Sustainable Reforms、2017

Kenichi Nishimura、How People's Participation is Realized in the Philippine Local Governments: An Empirical Study on the Local Development Council、2017 EROPA CONFERENCE、2017

Jun Kobayashi、Kenichi Nishimura、Hiroko Osaki、Do Mayors' Social Networks Increase Local Governments' Performance?: Network Analyses of 300 Local Governments in the Philippines、XXXVII Sunbelt Conference of the International Network for Social Network Analysis、2017

Masao Kikuchi、Kenichi Nishimura、Where the Western Style Decentralization Reform meets the East (and West): Institutionalization of Local Government Bureaucracy and Performance of Local Government in the Philippines、3rd International Conference on Public Policy of International Public Policy Association、2017

永井史男、籠谷和弘、タイ地方自治の定着 - 自治体エリートサーヴェイの単純集計を素材に、

日本タイ学会第 19 回研究大会、2017

Fumio Nagai, Kazuhiro Kagoya, Local Governance in Thailand: Analysis of Local Elite Survey, 2017 EUROSEAS Conference, 2017

菊地端夫, Gated City の政治経済学 「私的政府」と自治体の領域一致下での官民関係の検討、2017 年度日本政治学会研究大会、2017

Masao Kikuchi, Assessing Promoting Factors of Partnerships among Local Governments: Inter Municipal Collaboration for Sustainable Service Delivery in Japan, 2017 EROPA Conference, 2017

Masaaki Okamoto, Depoliticizing Social Cleavages for Democratic Consolidation in Indonesia, International Conference on the Future of Asian Democracies, 2017

Masaaki Okamoto, Bringing “ the State ” Back In: Politics of Reclamation in Metropolitan Jakarta, Southeast Asia ’ s Democratic Recession Workshop, 2017

<sup>21</sup> Masaaki Okamoto, Indonesian Democracy in Deconsolidation? Re-politicization of Social Cleavages, 韓国東南アジア学会、2017

<sup>22</sup> Fumio Nagai, Kazuhiro Kagoya, Preliminary Observation of Thai Local Government Survey in 2012/13 - Comparative perspective with 2006 Survey Result, Workshop on Quantitative Analysis of Local Government in Indonesia in comparison with Thailand and the Philippines, 2016

<sup>23</sup> Masaaki Okamoto, Irony of “ Political ” Resistance of Local Bureaucrats in Java, Indonesia, Workshop on Quantitative Analysis of Local Government in Indonesia in comparison with Thailand and the Philippines, 2016

<sup>24</sup> Masao Kikuchi, Collaborative Governance among Local Governments: Explanatory Factors of Inter Municipal Cooperation in Japan, IRSPM(International Research Society for Public Management) 2016 Conference, 2016

<sup>25</sup> Masao Kikuchi, Driving Innovations through Cross-Sectional Human Resource Exchange: Lessons from Japanese Experiences, The 4th International Symposium on Human Resource Management and Innovation Strategies, 2016

<sup>26</sup> Masaaki Okamoto, Institutional Politics of “ Floating Mass ” of Jakartans, 台湾東南アジア学会、2016

<sup>27</sup> Masao Kikuchi, Transforming Public Sector Concept and Big Data, Big Challenges and Risk, and Big Opportunities in Japan, International Seminar on Public Service in the Era of Big Data, 2016

<sup>28</sup> 岡本正明, ジャカルタ政治のもう一つの顔： デモと埋立のリンク、第 3 回グローバル都市研究会、2016

<sup>29</sup> Kenichi Nishimura, Do the Family Background of Mayors Affect the Performance of Local Governments in the Philippines?, Asian Political and International Studies Association Annual Congress 2015, 2015

<sup>30</sup> Kenichi Nishimura, Jun Kobayashi, Do the Mayors' Characteristics Affect the Performance of Local Governments in the Philippines?, Eastern Regional Organization for Public Administration (EROPA) 2015 Conference, 2015

<sup>31</sup> Masaaki Okamoto, Banten in Motion, Special Seminar on Local Oligarchy in Indonesia, 2015

<sup>32</sup> Fumio Nagai, Decentralization and Regional Difference of Politico-Administrative Network in Thailand - Analysis of the 2006 Thai local government survey results, 日本タイ学会ワークショップ "Democratization and Judicialization of Politics in Thailand", 2015

〔図書〕(計 6 件)

Fumio Nagai, Tsuruyo Funatsu, Kazuhiro Kagoya, Institute of Developing Economies, JETRO, New Waves of Decentralization in Southeast Asia: Local Governance Survey Data, 2019, 158

永井史男, ミネルヴァ書房、東南アジア現代政治入門(改訂版)(清水一史、田村慶子、横山豪志 編集) 2018, 330 (113-137)

岡本正明, 晃洋書房、政治の司法化と民主化(玉田芳史編著) 2017, 290

永井史男, 岡本正明, 慶應義塾大学出版会、東南アジア地域研究入門 3 政治(山本信人監修・編著) 2017, 344

永井史男, 丸善出版、グローバル時代のアジア都市論 持続可能な都市をどうつくるか(松行美帆子、志摩憲寿、城所哲夫編) 2016, 224

岡本正明, ジェトロ・アジア経済研究所、新興民主主義大国インドネシア ユドヨノ政権の 10 年と 2014 年選挙(川村晃一編著) 2015, xii+333 (159-184)

(1)研究分担者

研究分担者氏名：永井 史男  
ローマ字氏名：NAGAI Fumio  
所属研究機関名：大阪市立大学  
部局名：法学研究科  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：10281106

研究分担者氏名：岡本 正明  
ローマ字氏名：OKAMOTO Masaaki  
所属研究機関名：京都大学  
部局名：東南アジア地域研究研究所  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：90372549

研究分担者氏名：籠谷 和弘  
ローマ字氏名：KAGOYA Kazuhiro  
所属研究機関名：関東学院大学  
部局名：法学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：70313351

研究分担者氏名：小林 盾  
ローマ字氏名：KOBAYASHI Jun  
所属研究機関名：成蹊大学  
部局名：文学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：90407601

研究分担者氏名：菊池 端夫  
ローマ字氏名：KIKUCHI Masao  
所属研究機関名：明治大学  
部局名：経営学部  
職名：専任准教授  
研究者番号（8桁）：40515920

(2)研究協力者

研究協力者氏名：船津 鶴代  
ローマ字氏名：FUNATSU Tsuruyo  
研究協力者氏名：砂原 庸介  
ローマ字氏名：SUNAHATA Yosuke  
研究協力者氏名：北村 亘  
ローマ字氏名：KITAMURA Wataru  
研究協力者氏名：長谷川 拓也  
ローマ字氏名：HASEGAWA Takuya  
研究協力者氏名：ワフユ プラスティアワン  
ローマ字氏名：WAHYU Prasetyawan